

第 1 1 回 泉区和泉町住居表示検討委員会議事要旨

日 時	平成24年5月14日(月) 10時～11時10分
開 催 場 所	泉区役所 4階 4A会議室
出 席 委 員	<p>検討委員：日並会長、菊川副会長、佐藤副会長、新井委員、望月委員、笠井委員、渡辺委員、本橋委員、中村委員、藤井委員、坂崎委員、小林委員、小網委員、山村委員、志田委員代理、鎌田委員代理</p> <p>事務局：緑川窓口サービス課長、中込住居表示係長、野村金子区政推進課長、高向企画調整係長、齋島</p>
欠 席 委 員	川島委員、上原委員
開 催 形 態	公開(傍聴人なし)
議 題	<p>1 議題</p> <p>(1) 第二次地区の町界について</p> <p>(2) 第二次地区の町名について</p> <p>(3) 今後の検討スケジュールについて</p> <p>(4) 次回検討委員会までの周知内容について</p> <p>(5) 次回検討委員会について</p>
決 定 事 項	<p>1 第二次地区の町界は線①及び線②とし、3つの町を新設する。</p> <p>2 町名アンケートの実施方法は、選択式とする。</p>

議 題	
<p>1 議題</p> <p>(1) 第二次地区の町界について</p> <p>資料1「第二次地区の町界について」に沿って説明</p> <p>【事務局】前回検討委員会で、第二次地区の実施区域を決定しましたので、本日は町を分ける境界線について検討します。町界については、「横浜市住居表示整備要綱」に、公道・河川・鉄道等恒久的なもので町界が入り組むことのないよう、簡明な境界線で区画するとあります。また、町面積は、一町あたり 0.132～0.165 k㎡を基準としていて、街区が 30～50 個分の広さが適切であるとしています。前回検討委員会後に町界について事務局案を作成しました。線①とした町界は、</p>	

泉が丘公園と、実施区域外となりますがふたば保育園までを結ぶ道路です。途中に泉ヶ丘幼稚園もあります。もう一本の線②とした町界は、バス通りとなっています。実施地区内には、大丸、原田のバス停があります。第二次地区はこの2本の道路を町界とし、3つの町を新設することを提案します。町面積は、Aが0.16k㎡、Bが0.15k㎡、Cが0.21k㎡、合計0.52k㎡です。世帯数は、Aが585世帯、Bが630世帯、Cが605世帯、合計1820世帯です。町面積の基準からすると、若干Cの面積が大きいです、これまでの実施例からして問題はありません。面積的にも世帯数的にもバランスがとれていると思います。また、4月24日に関係地区の委員の皆様にご協力いただき、現地調査を行いました、その際に事務局案が妥当ではないかという御意見をいただいています。本日は、他の地区からの御意見もいただきたいと思っています。

【会長】この地区は、自治会町内会が入り組んでいるので、さらに町を分けるということ、自治会町内会区域が分断されるというような御意見が、地域から出てくることもあるかと思いますが、現地調査をした上での事務局からの提案です。案について御意見をいただきたいと思っています。

【委員】下和泉連合です。今説明がありましたように、線①と線②の道路で町を分けるということですが、線①に関しては、他の道路にするという意見もありました。線①の一本西側にある、泉が丘中学校の脇を走る道路です。しかし、現地調査で確認したところ、この道路を町界にするのは難しいと感じました。また、当初は第二次地区を4つくらいの町に分けることも考えていましたが、他に分けられそうにないので、面積や世帯数を鑑みても、事務局案が妥当だと思っています。

【会長】線①の道路は、線②のバス通りと比べるとやはり細いですが、一本道です。

【事務局】そうですね、この地域はなかなか一本道がないので。今御報告いただいたとおり、線①の一本西側に入った泉が丘中学校の脇を走る道路は、さらに細くて車の通り抜けも難しいような道路ですので、線①の方がこの地域の中では町界に設定できる道路だと思います。

【会長】それでは、他に御意見もないようですので、事務局案を了承するという事によろしいでしょうか。これで、第二次地区の実施区域と、町界について、検討委員会の案が決定しました。それでは、次に町名の検討に入りたいと思います。事務局より提案がありますので、第一次地区の時のことも思い浮かべながら、説明を聞いてください。

(2) 第二次地区の町名について

資料2-1「第二次地区の町名について」に沿って説明

【事務局】町名を検討するにあたって、地域にお住まいの方の御意見を伺うために、第二次地区においても町名アンケートの実施を考えています。実施対象は、第二次地区内にお住まいの方及び事業所で、1世帯または1事業所につきアンケートチラシを1枚配付します。実施方法は、横浜市委託業者によるアンケートチラシのポスティング、回答用ハガキの返送による回収とします。本日は、第一次地区での実施例をふまえて、御意見の伺い方について事務局よりいくつか御提案がありますので、御検討をお願いします。

す。

パターン1…選択式（アンケート1回実施）

- ・第一次地区と同じ実施方式。検討委員会で町名候補を挙げ、地域にお住まいの方に選択していただき、その結果を基に9月の検討委員会で町名案を決定する。
- ・この実施方式の場合、あらかじめ町名候補が用意されていることに違和感のある方もいる。

パターン2…自由記入式（アンケート1回実施）

- ・町名候補を挙げずに、地域にお住まいの方に希望する町名を自由に御記入いただき、得た町名候補の中から検討委員会で町名案を決定する。
- ・戸塚区から泉区・栄区がつくられた際の町名の検討方法と同じ方式
- ・パターン1のように票数の集計だけでなく、一つひとつの町名候補を「横浜市住居表示整備要綱」と照合し、町名としてふさわしいか精査する作業が必要となる。
- ・作業後、事務局より結果を各地域にお知らせし、事前に御検討いただいた上で、9月の検討委員会で町名案を決定する。

パターン3…自由記入式・選択式（アンケート2回実施）

- ・地域にお住まいの方に希望する町名を自由に御記入いただく（一回目）。アンケートで得た町名候補から、検討委員会において絞込みを行い、その中から選択していただく（二回目）。その結果を基に、9月の検討委員会で町名案を決定する。

パターン3は、4月24日の現地調査の際にいただいた御意見です。その後、事務局で検討したところ、この方式での実施は難しいとの結論に至りました。まず、町名を地域にお住まいの方に決定させる形となり、検討が二回目のアンケート結果に縛られてしまう恐れがあります。パターン1も同じ選択式ですが、実施が1回なので、必ずしも得票数に左右されない、検討資料と呼ぶことができます。しかし、パターン3は、一回町名候補を募って、さらに選ばせるということで、得票数＝新町名という意味合いが強くなり、検討資料と呼ぶことが難しく、検討委員会に決定権がおけなくなってしまうことを心配します。また、スケジュール的にも、アンケート2回の実施は困難です。一回目、二回目共に、回答期間や検討期間が必要となるので、11月の「案の地元説明会」までに町名案を決定することができません。このため、パターン3による実施は難しいことを御理解いただいて、アンケートの実施方式について、パターン1とパターン2のどちらがいいか、あるいは他に方法がございましたら御提案いただき、御検討をお願いしたいと思います。

【会長】 今回新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、資料2-2、2-3のアンケートチラシの見本を使って具体的に説明をお願いします。

【事務局】 パターン1の選択式の見本が資料2-2になります。今、具体的な町名候補がないので、見本では一個目の候補を「アイウ〇丁目」、二個目の候補を「A B C〇丁

目」としてありますが、このように検討委員会で町名候補をいくつか決定し、地域にお住まいの方にはその中から希望する町名候補を選択していただきます。パターン2の自由記入式の見本が資料2-3になります。中面を開いていただくと、回答用ハガキが右上にあるかと思えます。このように、自由に町名を御記入いただくのですが、なるべく地域に馴染みのあるもの、親しみ深いものとなるようお願いし、読み方や理由についても一緒に御記入いただきます。

【会長】今の説明で大体御理解いただけたと思いますが、パターン1の場合は、これから町名候補を検討委員会で決定し、アンケートを実施して、その結果を基に9月の検討委員会で町名案を決定します。パターン2の場合は、町名候補を検討委員会で検討する必要はなくこのまま御記入いただくものですが、その代わり、アンケート結果をまとめる作業が大変になります。理由等もたくさん出てくるかと思えますので、その膨大な資料を委員の皆さんには御確認いただき、9月の検討委員会で町名案を決定します。それから、パターン3は2回実施する分、11月の「案の地元説明会」が難しくなるということです。また、あくまでもこのアンケートは、検討委員会で町名を決定するために、地域にお住まいの方の御要望や御意見を聞くことを目的に実施します。これまでも、検討委員会での決定が地域の意見の総意であるとして進めてきましたから、アンケート結果だけで決定してしまうと、この検討委員会の存在の意味が分からなくなってしまう気がしますが、ここで御意見をいただきたいと思えます。

【委員】私は、第一次地区の時と同じように、パターン1で進めたらいいと思えます。おそらく、来月また集まってアンケートに載せる町名候補を決定すると思えますが、その案は地域で検討して持ち寄ることになるので、それも言わば地域へのアンケートだと思えます。

【委員】私もパターン1の方式でよろしいのではないかと思います。確かに一部からあった御意見の内容はその通りなんですけど、どんな方式を採ったとしても、必ずそうした御意見は出てくるかと思えます。逆に、パターン2で実施して、たくさん案が出れば出るほど、期待が膨らみます。すると、その後の決定については、必ずこれまでより多くの御意見が出ると思えます。ですから、パターン2も一つの方法ではありますが、敢えてそうした事態を招く方法を採用する必要はないと思えます。ただし、パターン1で、町名候補を決定する際には、検討委員会での十分な議論をすべきだと思えます。

【委員】私は、中田地区なので、先に住居表示を実施した地区として経験を申し上げます。中田地区は非常に広いので、町名を決定するにも、昔からの名称がたくさんあって、まとめるのに苦労しました。結局、東西南北を付けることで落ち着きましたが、その際には、検討委員会に一任をもらったんです。そうしなければ、地域の意見を全部聞こうとしたら、いつまで経っても結論を出せません。ですから、どこかで決断をすることが必要だと思えます。

【委員】ちょっと御質問させていただきたいのですが、今検討している地区は第二次地区で、今後地続きで第三次・第四次地区と検討が進んでいくわけですが、町名について第三次・第四次地区との関連性を全く考える必要はないのでしょうか。全く切り離して

考えるという方が、決めやすいことは決めやすいですが。

【会長】今のは大事な御意見で、第三次・第四次地区を一つの町名にするのか、二つの町名に分けるのか、検討が必要だと思っています。私個人としては、実施は第三次・第四次地区と分けることになりましたが、町名は一つでもいいのではないかと気がしています。

【委員】すみません、今議題に挙がっているのは、町名アンケートをパターン1とパターン2のどちらの方式で実施するかですので、話を戻していただきたいと思います。パターン1の選択式であれば、事前に検討委員会で町名候補を決定する際、今後の地区についても配慮しながら考えられます。パターン2では、自由に御記入いただくので、收拾がつかなくなりますし、今後の地区との兼ね合いも持てなくなると思います。

【委員】パターン1にも、「その他」の欄があるのですから、自由に記入することができます。

【会長】資料2-2の見本では、「その他」の欄が小さいので、むしろこのスペースを大きくしてもらいたいと思います。また、表記の仕方ですが、町名候補が、「1」「2」だと「これで決まる」という印象が強いのかもしれませんので、「例1」「例2」などにした方がイメージとして優しくなるかと思います。「その他」についても、例えば「新しい町名」に表記を変えて、記入スペースを大きくして、御自身の考えを御記入いただくとした方がいいと思います。

【事務局】では、回答方法としては、検討委員会で出た町名案を例としてお示しし、もし例以外に御希望の名称がありましたら、御記入くださいというイメージでよろしいでしょうか。

【会長】はい、では大体イメージができたかと思いますので、どの方式で実施するか結論を出したいと思います。パターン1がいいと思う方は挙手をお願いします。はい、では大多数の方がパターン1に賛成ということですので、これで決定します。それで、先ほど、本日は町名候補を決定せずに、一旦各地域で検討して、6月にまた検討委員会を開催して決定するという御意見がありましたが、いかがでしょうか。

【委員】実施区域に入っている地区はすでに町名候補があるのではないですか。本日決定するのは無理ですか。

【会長】下和泉地区は町名候補が地域から出ているのではないかと思います、中田地区はどうでしょうか。

【委員】アンケートは、先ほども話題に出ていましたが、「その他」が重要だと思います。アンケート結果を読み解いて、いただいた御意見は全部検討の場に出して、議論し尽くしたんだというのを、地域にお住まいの方に示すことが大事です。繰り返しになりますが、最後は検討委員会に一任をとらせてもらうしかありません。

【会長】ありがとうございます。

【委員】今、パターン1で実施すると決定しましたから、ここである程度の町名候補を出しておいて、地域に持ち帰って、何か意見が出れば6月の検討委員会で報告するとした方がいいと思います。

【事務局】そうですね、町名を候補としてではなく、例として挙げるということで、二つ三つ挙げなくてはいけないということではなくなりましたので、一つでもあるんでしたら是非ここで御意見いただきたいところですが。

【委員】先ほどあった町名候補を「優しい出し方にする」という提案には賛成ですが、「例」としてしまうと、全く白紙の状態だと示すことになります。そうすると、漠然とし過ぎてしまいますので、やはり「案」として出して選択してもらって、それ以外で御意見がある場合は教えていただければ、いくらでも聞きますよという形にした方がいいと思います。

【会長】分かりました。そういうことですので、関係地区の方も町名候補を考えていらっしゃると思いますので、御意見をいただきたいと思います。

【委員】私が考えた案は「泉の里」です。「いずみ」は漢字一文字で「泉」、「の」は平仮名、「さと」は野山の「里」です。

【会長】他にありますか。

【委員】私は、この実施区域内に公共の施設で、「泉が丘中学校」や「泉ヶ丘幼稚園」、「泉が丘公園」がありますので、「いずみがおか」を提案します。地域で議論しましたが、別の意見も特になく、「いずみがおか」が妥当だという意見が大勢でした。ただ、「が」の表記をどうするかについては、結論は出ませんでした。

【委員】「いずみがおか」は、全国にたくさんあるような気はしますが、中学校や幼稚園、公園などの施設がありますので、ふさわしいのではないかと思います。

【委員】私も、「いずみがおか」が第一候補ですね。あとは、この地域は昔から「大丸」と呼ばれていて馴染みがあるので、アンケートでも意見として出てくると思いますので、挙げておきます。

【会長】陣屋自治会はどうですか。

【委員】そうですね、私の地域でも「いずみがおか」がふさわしいという意見が大半でした。

【委員】この地域での親しみ方はまた違うのかもしれませんが、「いずみ」の表記は、元が和泉町なので、「和」をつけることにこだわりたい気もします。

【委員】第一次地区に「下和泉」と付けましたからね。

【委員】和泉町の中央の地区なので、長後街道南部の地区は一つの名称に東西南北を付けて表してはどうでしょうか。例えば「中央」に東西南北を付けて、第二次地区は「中央南」。ただ、今話を聞いていて、やはり「いずみがおか」がよろしいのではないのでしょうか。

【会長】それでは、皆さんの御意見をお伺いしたところで、アンケートに載せる町名候補やその順番を仮決めしたいと思います。表記をどのようにするかはまだ決定していませんが、一番目に最も御意見の多かった「いずみがおか」。それから、「泉の里」と「大丸」が出ていますが、「大丸」と呼ばれる地域が実施地区内では大きいので、「大丸」を二番目にしますか。

【事務局】「大丸」に関しては、気になる点があります。まず、都筑区に「大丸」とい

う町があります。「横浜市住居表示整備要綱」には、同一町名や類似町名はできるだけ避けるとありますので、少し気にかかります。また、実施地区内には「大丸」という名称に馴染みのある方とそうでない方がいらっしゃいますので、そうした点も心配ではあります。

【会長】では、「泉の里」を二番目にしますか。でもやはり、「大丸」も入れた方がいいと思います。

【事務局】順番は三番目でよろしいですか。

【会長】そして、「その他」という表記ではなく、「新しい町名」に変更してください。

「いずみ」の表記については、様々な御意見があるかと思いますが、ひとまず町名候補は「いずみがおか」、「泉の里」、「大丸」の3つでどうかということ、各地域で話し合っていたきたいと思います。そして、6月に検討委員会を開催して、各地域で出た御意見等を御報告いただいた上で、町名アンケートについては最終決定をしたいと思いますが、いかがですか。

【事務局】確認ですが、第一次地区のアンケートでは、地区によって町名を分けることも考えて、どの地区がどの町名を希望するのかが分かるよう、お住まいの地区がどこかをお尋ねしましたが、今回はどうしますか。

【会長】第二次地区は町名を分けることはしませんので、尋ねる必要はありません。また、地図上に地区を記載する時は、番号を南側の深谷通信所の方から始めた方がいいかもしれないですね。

【事務局】そうですね。第一次地区の丁目の起点を南側に設けたのと同様に、第二次地区も将来周りの地区が住居表示を実施する時に丁目をつなげられるよう、深谷通信所の方から振ったほうがいいのかもかもしれません。

【会長】はい、では、一旦本日の話を各地域に持ち帰って、6月の検討委員会で各地域からの御意見を御報告いただきながら、町名アンケートについて最終決定します。日程は、できるだけ早い方がいいと思いますので、6月11日（月）はどうですか。では、時間は10時からで、会場については調整して事務局からお知らせします。

【事務局】もう一度スケジュールを確認しますと、パターン1のスケジュールに基づいて進めていきます。6月11日（月）の次回検討委員会までに、各地域の御意見をまとめていただいて、町名アンケートについて最終決定をし、7月頃に実施という流れになります。

【会長】それでは、本日はこれで終了いたします。御協力いただきまして、ありがとうございました。

資料	資料1 第二次地区の町界について 資料2-1 第二次地区の町名について 資料2-2 アンケートチラシ案（パターン1） 資料2-3 アンケートチラシ案（パターン2）
----	--